

令和3年度熊本県中学校総合体育大会
バスケットボール競技
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

熊本県中学校総合体育大会は、本ガイドラインに則り、感染拡大予防対策を行います。来場するすべての方々（参加校はもちろん、チームサポーターも含む）におかれましても、本ガイドラインを遵守し、感染拡大予防対策を徹底して頂きますようお願いいたします。

本ガイドラインは、熊本県バスケットボール協会新型コロナウイルス対策ガイドライン等を踏まえて作成しています。

1 大会実施に当たっての基本的な考え方

大会の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策を講じることとします。

【 大会実施に当たっての基本的な考え方 】

- ・感染源を絶つ
- ・感染予防の3つの基本（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い等の徹底）
- ・3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）の回避
- ・安全な活動環境等の確保

2 大会実施時の感染予防策

(1) 主催者

- ① 主催者は、風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等を、大会に参加させない方針を各学校に事前に周知する。
- ② 主催者は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加校は、大会に参加する引率者等や選手及び保護者に対し、参加に当たっての注意事項等を事前に説明し、「参加同意書」（別紙1）を大会当日、受付に提出させる。
- ③ 主催者は、各校の選手や引率者等の2週間分の体調を記録した「健康チェックシート」（別紙2）の記録を求め、各学校、各家庭における健康管理を徹底する。
- ④ 主催者は、大会当日受付時に、「チームサポーター名簿」（別紙3）を提出させ、選手・引率者・チームサポーターの体調を確認する。また、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部に申し出るよう代表者会で確認する。
- ⑤ 主催者は、大会役員に対しても、「健康チェックシート」（別紙2）の提出を求めるとともに、来場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告することを確認する。
- ⑥ 主催者及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、大会救護係や医療機関及び保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。
- ⑦ 主催者は、主催者及び引率者等は、大会会場のベンチ、待機場所や食事をする場所について、できるだけ2メートル（最低1メートル）空くよう、選手同士の間隔を取らせる。
- ⑧ 会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。試合間や試合のハーフタイムに換気を行う。
- ⑨ 主催者は、大会関係者がこまめに手洗いを行うことができるよう、施設と連携し、手洗い

場にポンプ式液体、または泡石鹸を用意し、手を拭くためのペーパータオルを用意する。

(2) 引率者

- ① 引率者は、大会会場で受付を行い、その際に選手の「参加同意書」(別紙1)、2週間分の体調を記録した「健康チェックシート」(別紙2)、「チームサポーター名簿」(別紙3)の提出を行う。
- ② 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士の間隔ができるだけ2メートル(最低1メートル)空くように指導する。
- ③ 引率者等は、引率するチームの選手・チームサポーターにマスクをつけさせることを徹底させる。また、会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水をさせる。その際、給水用のコップ等を共用させない。
- ④ 引率者は大会期間中、こまめに流水と石けんで手洗いを行うよう、選手に指導する。(マイタオルの使用を指導する。)
- ⑤ 引率者等は、バスによる移動の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気を行い、乗車人数を減らすなどの工夫をする。
- ⑥ 引率者等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。もしも、体調が優れない選手がいた場合には、すぐに会場を離れさせ、大会主催者に連絡する。
- ⑦ 参加チーム及び個人は原則として試合時間にあわせて来場し、試合終了後は速やかに帰宅する。チームの待機場所はあらかじめ決められた場所に待機し、他のチームとの交流をしない。(開場へ来る時間は、前の試合が始まってからとする。)
- ⑧ 各チームでアルコールを準備し、試合終了後各チームでベンチを消毒する。

(2) 選手

- ① 選手は、大会中競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用することを徹底する。また、試合中ベンチに座っている時間中もマスクを着用する。
- ② 選手は対戦相手や審判等との握手、仲間と手を繋いだり、肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどの実施を制限する。また、試合中はチームでそろえての応援や声出しも行わない。
- ③ 選手は会場に入った後は、決められた場所で待機し、他のチームとの交流をしない。更衣室を利用する際は、人数を制限し、短い時間での利用を行う。また、他のチームと一緒にしないようにする。
- ④ 選手はこまめに手洗いを行い、マイタオルなどを準備し感染防止に努める。

(3) チームサポーター

- ① チームサポーターは人数制限(20名以内)を行い、「チームサポーター名簿」(別紙3)を記録の上、受付に提出する。(チームサポーターは配布されたIDを着用する。)
*人数制限に関しては、感染状況を考え変更する場合もある。
- ② 試合観戦する場所や待機場所は指定された場所で行い、応援の際には2メートル(最低1メートル)空くようにし、他チームのサポーターとの交流をしない。試合終了後は、各チームの使用した場所は各チームで消毒をする。
- ③ 会場に入ってから、必ずマスクを着用する。試合の観戦について、大きな声での応援は行わない。